

放射能に関する情報

▶米の全量全袋調査

福島県産米の安全性を証明するため、県内で生産される平成24年産米（自家消費米・縁故米を含む）を対象とした「全量全袋検査」を実施します。

対象となる方には個別に書類を送付していますので、ご協力をお願いします。

市内では8か所（検査機器9台）で検査を行います。詳細は次のとおりです。

検査受入場所	設置台数	対象地域	連絡先
J Aしらかわ五箇集荷場（田島）	2台	白河・東	☎2106
㈱しらかわ米穀倉庫（旗宿）	1台	全地域	☎3041
㈹酒井商店倉庫（板橋）	1台	白河	☎2405
J A東西しらかわ表郷倉庫（表郷金山）	1台	表郷・関辺	☎3511
J Aしらかわ大信集荷場（大信中新城）	1台	大信	☎2211
㈹鈴木農産倉庫（東下野出島）	1台	東	☎2669
白河精米工業㈱倉庫（東工業団地）	1台	東	☎3383
㈱サイゼリア倉庫（東上野出島）	1台	東	☎1215

☎本庁舎農政課 ☎1111 内2224

▶大信地域の個人住宅除染を開始

市ではこれまで「白河市除染計画」に基づいて、学校や公園など、公共施設の除染に取り組んできました。

また、今年度からは、生活空間の放射線量を低減するため、市内でも比較的放射線量の高い大信地域から、順次個人住宅の除染を開始します。

大信地域では、7月から放射線量や建物状況の調査を実施していて、10月から除染作業を開始します。大信地域以外の除染は、計画に基づき次年度以降に順次実施する予定です。

除染作業にご理解とご協力をお願いします。

☎本庁舎放射線対策室 ☎1111 内2188

▶除染関係物品の配布期間を延長

市では、市が行う除染作業以前に、自ら早期に除染を行う方を対象に、除染関係物品を配布しています。

配布期間を次のとおり延長しますのでお知らせします。

●配布期間

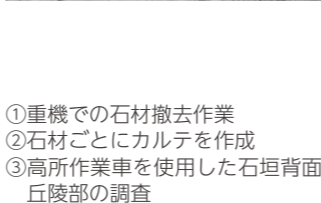
平成25年3月末日

●配布物品

フレキシブルコンテナバッグ、土のう袋、ブルーシート、ゴーグル・マスク・ゴム手袋

※詳しくはお問い合わせください。

☎本庁舎放射線対策室 ☎1111 内2188



①重機での石材撤去作業
②石材ごとにカルテを作成
③高所作業車を使用した石垣背面丘陵部の調査

小峰城跡 石垣再生への道

小峰城跡石垣の修復作業は、2月から調査を開始し、現在は本丸南面の崩落石材撤去作業を終えるなど、再生に向けた歩みを着実に進めています。

昨年に引き続き、第2回目となる「小峰城跡 石垣再生への道」では、これまでに行われた本丸南面の作業の様子をお知らせします。

崩落した姿の記録

震災による小峰城跡の石垣崩落がどのように起こったのか、崩落の原因は何だったのかを明らかにするため、崩落した姿を克明に記録しながら石材の撤去作業を行いました。

作業は、それぞれの石材に番号を付け、崩落位置を測量し搬出しました。その数は約2,700個を数えます。

これまでの調査から、幅45m、高さ10mあった石垣は、根元から約3分の2のところで「く」の字に折れ曲がり、一気に前面に倒れたものと推定されます。

資料収集のための調査で新たな発見

本丸の地形や石垣を支える丘陵の特徴を明らかにすることは、石垣の修復方法を検討するうえで重要な資料となることから、地質調査や発掘調査を行いました。

調査の結果、本丸付近は谷地形であったことや、谷を埋めて平坦地をつくり、本丸を築いたことが明らかになりました。これは、城郭の変遷をたどるうえで重要な発見と言えます。

石材カルテの作成

撤去した石材は1か所にまとめ、平置きにしています。大きさの計測、写真撮影、損傷状況の確認などを一石ごとに行い、カルテを作成しています。そして、崩落前にどの場所にあったのか特定作業を進めています。

壮大な姿の再生に向けて



見学会を開催

9月9日、昨年に引き続き、第2回目の見学会を開催し、約250人が参加しました。崩落現場や撤去した石材置き場を見て回り、パネルを使いながらの調査成果の説明では、真剣に聞き入る参加者たちの姿が見られました。また、石垣の積み方の特徴や今後の見通しなど、多くの質問が寄せられました。

今後に向けて

今後は、石材の撤去作業が終了した本丸南面の積替方法等の検討を行うとともに、まだ撤去が済んでいない残り8か所の作業を順次進めていきます。石垣の修復は、一日でも早く、清水門から本丸へ、そして三重櫓まで行くことができますよう、本丸南面を優先的に進めていきます。

☎本庁舎文化財課 ☎2310

※第1回目の「小峰城跡 石垣再生への道」は、広報白河平成23年9月1日号に掲載しています。